



市議会議員 上田由美子 Tel. 68-2106



前市議会議員 砂田喜昭



前参議院議員 たけだ良介

上田由美子市議の一般質問(2)

補聴器助成対象者の拡充を



小矢部市では、昨年12月の市民団体からの要請と、昨年12月定例議会での共産党市議の求めにこたえて、2022年4月1日から高齢者補聴機購入費用助成事業が始まりました。助成する額は購入費用の2分の1で、上限は2万円、一人1回、1台のみです。

上田市議の質問に答えて、民生部長は「本年4月以降の助成実績は、3件」、「対象となる住民税非課税世帯で65歳以上は2080人で、これが65歳以上に占める割合は18.9%」と述べました。

【上田市議】 81.1%が対象外になるのでは、制度として不十分です。今年度申請しようとしたが、世帯全員が非課税に当てはまらなかったとして諦めた人がいた。所得制限無しが望ましいと思うが、せめて本人非課税に対象を拡大できないか。

また、補聴機の耐用年数は5年と言われており、買い換えるときにも助成が必要です。一人1回1台のみという規定を変えて、5年後にふたたび申請できることを求めたい。

【民生部長】 交付要綱の変更については、本年4月の事業開始から間がないことから、まずは実績等を十分検証したい。

【上田市議】 難聴により、脳への情報量が減ることで脳の機能低下がおき、うつ病や認知症になりやすいとの指摘がある。加齢性難聴に早く気付くために、国保の特定健康診査に聴力検査を、市が独自で加えたらどうか。その場合の費用はいくらか、後期高齢者の場合はどうか。

【民生部長】 特定健診については市内14カ所の医療機関で個別健診にて実施しているが、すべての医療機関で聴力検査を実施するには検査機器の導入をはじめ、医療機関側の検査体制の整備など多くの課題がある。このことから聴力検査を追加健診として実施することは困難であり、そのための費用負担をお示しすることも難しい。

発酵鶏糞の散布に補助金拡充 10a当たり7500円に

(補正予算)150万円

9月議会で、発酵鶏糞等の散布に対して、最近の肥料代高騰対策として補助金を拡充し、循環型農業(ニワトリに飼料用米、鶏糞を地力増強に)を目指します。10a当たり7500円の補助となり、面積も拡大されました。

【対象者】 市内農業者で発酵鶏糞等を散布する農業者

補助金①面積拡大分 (当初予算)40haから600haに拡大。

(補正予算)99万5千円

補助金②散布補助拡充分 (当初予算)500円/aから750円/aに引上げ。

と答えました。

総務産業建設常任委員会で上田由美子委員の質問に、農林課長は「散布

が終わってから申請するので、年度末にならないと今年度の利用面積はつかめない。過去5年間で平均447ヘクタールの利用があった」、「過去の実績からしても600ヘクタールを上回る

ことはない」と推定されるが、もし上

回ったときは、申請者のみなさんにお

話して、単価を下げざるを得ない」と

と答えました。

統一協会と市との関係について

市長「今後一切の関係を断つ」

【上田市議】 今年2月27日に、津沢コミュニケーションプラザで、「となみ野を愛し元気にする会」を名乗る団体が、「木曾義仲・巴御前フォーラム」を開催した。この会の会長、鴨野守氏は統一協会の関連団体事務局局長です。この会の副会長廣田氏は主催者あいさつをした。司会の山下氏が桜井市長のメッセージを代読し、柴田巧参議院議員がビデオメッセージを送った。

統一協会、別名世界平和統一家庭連合は、靈感商法で法外な値段のつばなどを売りつけたり、信者に多額の献金を求め生活を破たんさせたり、また人権を無視した集団結婚を行うなど、反社会的団体であると裁判でも判決が出ている。「木曾義仲・巴御前フォーラム」を小矢部市が後援し、市長がメッセージを送ったのはどういう経過からか。これまで統一協会関連団体の行事を市が後援したり、関係を持ったことがあるか、あったとすればどんなことか。

【産業建設部長】 となみ野を愛し元気にする会から後援依頼、市長の出席依頼があった。この団体を、郷土史を研究する団体と認識し、小矢部市が情報発信に取り組んでいる木曾義仲、巴御前をテーマにしたフォーラムの開催とのことだったので、後援名義の使用を承認した。市長メッセージについては当日出席できない旨を伝えたところ、メッセージをいただきたいとの依頼があり、お渡しした。

【総務部長】 ピースロード富山実行委員会に小矢部市の名義での4件の後援名義の使用承認、となみ野を愛し元気にする会について、市名義で2件、教育委員会名義で2件の後援名義の使用承認を行っていた。

【上田市議】 今後、小矢部市や市長が反社会的団体である統一協会およびその関連団体とは、一切関わりを持たないことを宣言することを求めたい。

【桜井市長】 旧統一協会について、社会的に問題のある団体であると、今回、報道等で知ったところである。ピースロードについては、富山県をはじめ、県内全ての市が後援をしていることから、本市も後援をしたが、一般の一連の報道により、世界平和統一家庭連合の関連団体が関係していることを知った。このことは大変不勉強であり、率直に反省している。誠に申し訳ありませんでした。

本市としては世界平和統一家庭連合の関連団体と判明した団体とは今後一切の関係を断つこととし、9月14日付ですべての部局、並びに所属職員に対して後援名義等の使用を承認しないように指示をしたところである。

【上田市議】 統一協会の靈感商法の被害に遭った方の相談窓口を市に設けることを求めたい。

【民生部長】 現在行っている消費生活相談と同様、解決に向けた助言を行うとともに、被害状況によっては警察や法律相談窓口を紹介するなど関係機関と連携するなど適切に対応していきたい。

